

## 講師プロフィール

岡 和孝（おか かずたか）



- 国立研究開発法人 国立環境研究所 気候変動適応センター（気候変動適応戦略研究室） 主任研究員
- 1976年和歌山県生まれ
- 宇宙物理学分野において神戸大学より博士号（理学）を取得後、民間シンクタンクにおいて14年以上にわたり気候変動の影響や適応に関する調査研究等に従事。
- 2018年7月に国立環境研究所に入所。気候変動影響・適応（主として健康（熱中症）及びエネルギー分野（再生可能エネルギー））に関する研究を進めるとともに、A-PLAT 運営や民間事業者のための適応情報の発信等に従事。
- 趣味は街歩き

### 【研究成果】

- Assessment of characteristics of surface solar irradiance on consecutive days using a self-organizing map and clustering methods Meteorological Applications, 28 (2021)
- 気候変動をビジネスチャンスに！ We Believe8月号 (2021)
- 連続する太陽光エネルギー低資源量日の発生頻度と同時発生範囲の評価 太陽エネルギー, 47 (2021)
- Climate change impacts on potential solar energy production : A study case in Fukushima , Japan Renewable Energy, 153 (2020)

### 【書籍】

- 近代科学社『気候変動下の水・土砂災害適応策—社会実装に向けて—』（共著）
- 技法堂『気候変動適応技術の社会実装ガイドブック』（共著） 等

【講演】 地方公共団体や民間企業を対象に適応推進に向けた講演も積極的に行っている。

- 2021 「第4回民間事業者による気候変動適応推進シンポジウムーTCFD における物理的リスクへの取組に向けて」（オンライン開催）において、岡和孝氏が「国環研が発信する気候変動適応のための科学的知見」という演題で講演
- 2021 兵庫県気候変動適応センターが主催する 事業者向け「気候変動適応セミナー」（オンライン開催）において、「気候変動による影響と適応」という演題で講演
- 2021 気候変動適応談話会において「気候変動および大気汚染がアジアの水稻生産および健康へ及ぼす複合影響の解明」について講演
- 2019 「Society5.0 と SDGs を見据えた目指すべき社会の在り方とその実現に向けて取り組むべき課題」をメインテーマとするつくば会議 2019 において、「気候変動への適応 ～地域の取組の活性化に向けて～」と題する国環研セッションが行われ、第2部で岡和孝氏が「気候変動適応プラットフォームと適応推進活動の紹介」という演題で講演
- 2019 「民間事業者による気候変動適応促進ワークショップ ～気候リスク情報とその活用事例～」において、岡和孝氏が「国環研における気候変動適応に向けた取組」という演題で講演するとともにパネルディスカッションにも参加

【委員会】 環境省や地方公共団体の検討会等の委員を多数務める。

- 2021 年度 令和3年度愛知県気候変動適応検討委員会委員（環境省地球環境局）
- 2019 年度 気候変動の影響観測・監視の推進に向けた検討チーム委員（気候変動適応センター）
- 2019 年度 東京大学教養学部 非常勤講師（D 地球環境論）
- 2019 年度 千代田区地球温暖化対策推進懇談会検討部会委員（千代田区環境まちづくり部）
- 2018 年度 東京大学大学院総合文化研究科 非常勤講師（D 地球環境論）